



校報 ひたみちっ子

校訓

「強く 賢く 美しく」
浜坂南小学校第74号
令和6年2月16日

がっこうっていいな ～「くーたんの読み聞かせ会」～

2月15日(木)、鳥取市で「クーニーズ」というケーキ店を営む [] さんが、6年生とひたみち学級の子どもたちに、「くーたんの読み聞かせ会」をしてくださいました。

[] さんは、浜坂南小学校(=大庭小学校)のOG=子どもたちの先輩です。

「懐かしいです。」

[] 校長先生の時にこの学校で学びました。」

「29年くらい前になります。」

「(学校の中も)きれいですね。」

「そうそう、こんな感じでした。だんだん記憶がよみがえってきました。」

「ああ、制服も変わっていない。」

と [] さん…。

[] さんは、ケーキ店を営むかわら、コロナ禍の中で「学校に行きたくない」という男の子を、クマの主人公のくーたんが励まし、元気づけるオリジナルストーリーの絵本「くーたんのがっこうっていいな」を自費出版されました。そして、鳥取市内の各地でその絵本の読み聞かせ会をしてこられたそうです。

今回特別に浜坂南小学校にもお越しいただけることになりました。



2校時は、ひたみち学級の子どもたちに、絵本「くーたんのがっこうっていいな」の読み聞かせをしていただきました。

絵本の世界の「くーたん」と一緒に、「まちがいさがしクイズ」もしました。すぐに間違いを見つけて発表してくれた人もいました。

その後は、[] さんと一緒に、好きな食べ物や好きなアニメのお話をたくさんして盛り上がりました。

最後に、オリジナル曲「あおぞらプール」の歌も、小さなピアノ伴奏付きで歌っていただきました。

心がほんわかと温かくなるような楽しいひとときを過ごすことができました。



3校時は、6年生の子どもたちに、絵本「くーたんのがっこうっていいな」の読み聞かせとともに、「ようこそ先輩」の学習として「 さんの夢」に関するお話をお聞きしました。私が特に心に残ったことは、次のようなお話です。

- さんは「小さい頃は、無口であまりしゃべらない子どもだった。」こと。
- 5年生の時に、神戸で大きな地震が起こった時、『自分には命がある。一日一日を大切に生きよう。』と思ったこと。
- せっかくある自分の命を、自分のために使おうと思ったこと。
- お菓子作りも好きだったが、それ以上に自分が夢中になれることは、音楽、歌うこと。それで、音楽の道を志したこと。
- 今は、自分が愛情を注げることをやってきてよかったと思っていること。
- 自分の心を大切にしたい選択をすれば、楽しいことがもっとふくらんでいく。心の中にキラキラしたものやステキなものが増えていく。
- 答えは自分の心の中にある。まずは自分の心。自分がキラキラと輝けば、幸せの輪は広がっていく。
- 自分の心にこうしたいというイメージがあれば、本当にそうなる。それに必要なチャレンジが自分に下りてくる。心が先で、現実の後。
- こうだと思ったら、まず行動に移してみる。行動して、自分を見つけることが大切。



先輩から後輩へ、大切なことをたくさん教えていただきました。

 さんのお話に、集中して、耳を傾けていた子どもたちの姿が印象的でした。これから小学校を卒業し、中学校へ進学する子どもたちが、自分の将来のことを考える上での良いヒントをたくさんいただいたと思います。

最後に子どもたちに向けて歌ってくださった、 さんのオリジナルソング「あおぞらプール」の優しくて美しい歌声…今も心に残っています。

 さん、本当にありがとうございました。

 さんと一緒に
記念撮影

